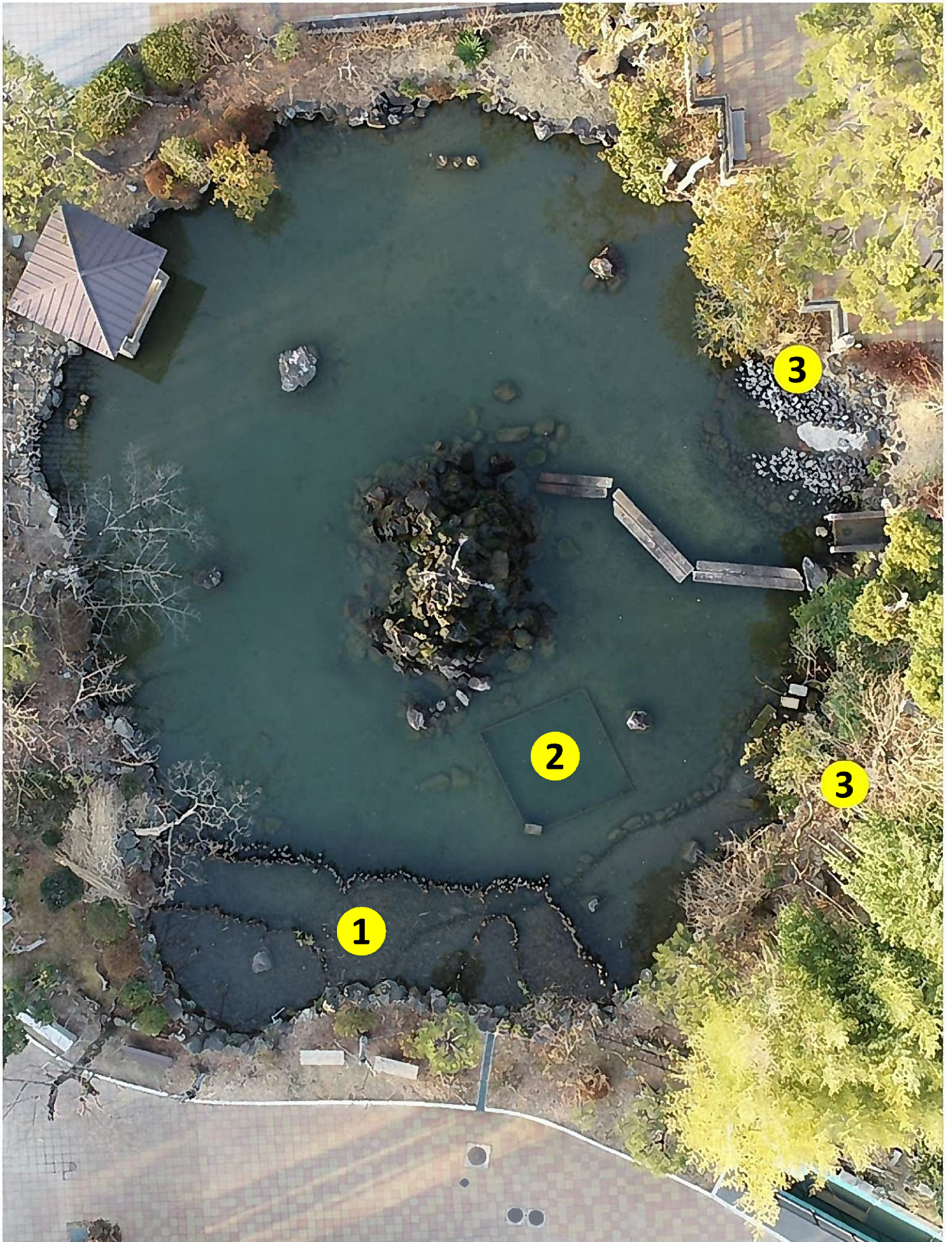


1903年からある園のランドマーク=噴水池



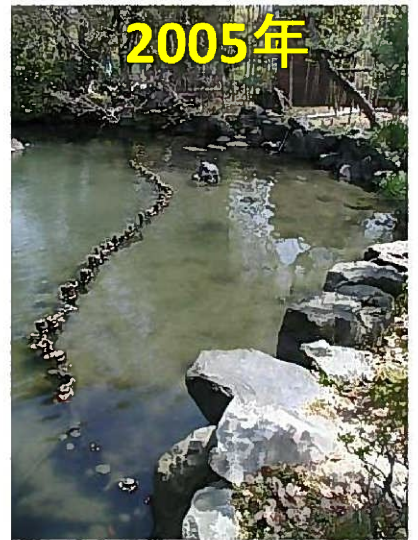
1 イネ目 イネ科 ヨシ

学名：*Phragmites australis*

英名：common reed

2005年に草津市立水生植物公園
みずの森からヨシをいただき、噴水池
にヨシ原を作ったのが始まりです。

その後、2010年に京都精華大学生
のビオトープをテーマとした卒業研究
の一環としての現在の広さに拡張しま
した。



なお、ヨシ原には、以下の働きがあります。

1. 水をきれいにする

- ・ヨシによって、水の流れを弱くして、水の汚れを沈める。
- ・ヨシの水中の茎につく微生物や群落の土中の微生物によって水の汚れを分解する。
- ・ヨシが水中の窒素、リンを養分として吸い取る。

2. 生き物のよりどころになる



2017年4月春の夜間開園では、刈り
取ったヨシを活用した「ヨシたいまつ」
を京都の森棚田で開催しており、燃や
した灰は米作りの肥料としました。



コイ目 コイ科 タナゴ亜科
イチモンジタナゴ

2

学名 : *Acheilognathus cyanostigma*
英名 : Striped bitterling



京都府カテゴリー 絶滅寸前種
環境省カテゴリー 絶滅危惧IA類(CR)
京都方言 ボテ(混称)

2016年から保全繁殖活動に取り組んでおり、噴水池東側に繁殖水槽を設置しています。

将来的には、噴水池内での繁殖を目指しており、在来種による生態系を維持したいと考えています。

なお、噴水池にある枠組み②は、水深が他の所よりも深くなっており、イチモンジタナゴ等がより安定した環境で過ごせるようにと、2014年の整備工事の際に設置しました。

全長6~8 cm

体側に青緑色の長い縦条があり、これが和名「一文字」の由来となっています。

繁殖期は春から初夏で、メスは産卵管を伸長させ大型のドブガイやカラスガイを好んで産卵します。この生態のため、タナゴの保全には二枚貝や二枚貝が増えるためのヨシノボリが必要となるなど連鎖しています。



ドブガイ



産卵管

3

ブッポウソウ目 カワセミ科

カワセミ

学名：*Alcedo atthis* 英名：Common Kingfisher



- ・留鳥として1年を通じて、噴水池や疏水で見かけます。
- ・餌(魚, ザリガニ, オタマジャクシ等)めがけて水中にダイブする姿を見かけることがあります。
- ・きれいな青色は色素ではなく、羽毛の微細構造により光の加減で見えており、構造色と呼ばれます。
- ・オスのくちばしは黒く、メスは下のくちばしが赤いところで区別できます。
- ・カワセミを表す漢字は、川蟬、翡翠、魚狗、水狗、魚虎、魚師、鷓など沢山あります。